

整理番号	HT25035	分野	物理	(キーワード)宇宙、望遠鏡、天体観測
------	---------	----	----	--------------------

筑波大学

自作の望遠鏡で宇宙を見よう

先生(代表者)	中井直正(なかい なおまさ) 数理物質系・教授			
自己紹介	電波で宇宙を観測し、天の川銀河や遠くの銀河の構造・運動、銀河の中心にある巨大ブラックホールなどを調べています。また南極内陸部ドームふじ基地で南極天文学を推進しています。宇宙はなぞだらけですが、大変興味深いものです。			
開催日時・主な募集対象	平成25年8月11日(日)	(対象)	中学生	(人数) 50名
集合場所・時間	筑波大学総合研究棟B・1階ロビー	(集合時間)	13:00	
開催会場(集合場所)	筑波大学総合研究棟B・1階講義室および屋上並びに宇宙航空研究開発機構(JAXA) 住所: 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 アクセスマップ: http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html			
内 容				
<p>本プログラムは5年目となりますが、自作の望遠鏡で天体観測を行うことができるため、参加者から大変好評を得ています。</p> <p>まず同じ市内にある宇宙航空研究開発機構(JAXA)の見学を企画し、日本の宇宙開発とそれに用いられているロケットおよび人工衛星の実物や模型を見ることによって、宇宙開発の探究の過程を学習します。</p> <p>後半では、「天体望遠鏡の構造と原理」の講義の後、口径5センチ倍率50倍の工学望遠鏡を作り、月や惑星などの観測をします。作った望遠鏡は、持ち帰って自宅でも宇宙を見ることができます。</p> <p>中学生のみなさん、是非、宇宙のロマンを感じてください！</p>				
				
(JAXA 見学)		(望遠鏡製作)		(天体観測)
スケジュール			持 ち 物	
12:30-13:00 受付(筑波大学総合研究棟B・1階)			はさみ	
13:00-13:20 開講式(行事予定の案内、注意事項、科研費の説明)			筆記用具	
13:20-14:00 借り上げバスで宇宙航空研究開発機構(JAXA)に移動			ノート	
14:00-15:30 宇宙航空研究開発機構(JAXA)の見学			特 記 事 項	

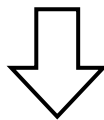
15:30-16:00 借り上げバスで筑波大学総合研究棟B・1階に戻る	プログラムが夜間に及ぶので、参加にあたっては事前に保護者の同意が必要です。(大学までの送迎は、保護者の方が責任を持って対応願います。)
16:00-16:15 休憩	
16:15-16:45 講義「天体望遠鏡の構造と原理」	
16:45-18:15 実習「口径 5 センチの光学望遠鏡の製作」	
18:15-18:45 休憩(軽食とお茶)	
18:45-19:45 観望会「宇宙を見よう」(製作した望遠鏡で月や惑星を見る)	
19:45-20:15 終了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
20:15 解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	数理物質エリア支援室(研究支援)加藤 祥治
住所：	〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL 番号：	029(853)5650
FAX 番号：	029(853)6305
E-mail：	kato.syoji.fe@un.tsukuba.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月11日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中井 直正	H17-19	基盤研究(B)	17340052	水メーザーの観測によるセファイド銀河系の統一モデルの再考
中井 直正	H20-24	基盤研究(A)	20244011	天の川のアンモニア掃天観測



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。